

山口新聞

平成30年1月19日(金)

NO.280

農地・水・環境

守ろう 地域の手で



当会は昨年5月に、山陽織が統合して発足した。年間を通じて温暖で降雨量が少なく自然に恵まれた地域部に位置する三つの活動組

2007年から各組織で農地・水・環境保全向上対策活動を行ってきたが、農家の高齢化に伴う耕作意欲の減退や担い手不足など共通した問題を抱えていた。

そこで、「三人寄れば文殊の知恵」というように三つの組織が協力し、培つた経験から知恵を出し合い、困難な農業情勢に活路を見いだすために統合。現在は会員一丸となって、農地の維持・保全活動、施設

の長寿命化に積極的に取り組んでいる。

地域では有帆ふるさとづくり協議会を中心にホタルを飼育・放流し、毎年6月には美しい光の乱舞が見られる。豊かな植生と多くの野鳥や昆虫に恵まれた江汐公園では、四季折々の花が楽しめるフィールドアスレチックなどもあり、子どもからお年寄りまで、ぜひお越しいただきたい。

(高千帆土地改良区会計主任、藤本恵子)

〔金曜日掲載〕

【メモ】会員=相本繁夫▽会員=298人、農家(197戸)、非農家(80戸)、自治会(16)、子供会(2)、土地改良区(1)、水利組合(2)

文殊の知恵で活路開け 高千帆環境保全会(山陽小野田市)

上 会員の皆さん
(設立総会で)
下 ゲートの点検
・清掃作業



11日▽連絡先=山陽小野田市日の出3の10の7、
藤本恵子、電話0836-84-02150